四季工房のいまを伝えるコミュニケーション情報誌

おりじん

Vol.9 2010年春号　[O·R·I·G·I·N]

発行／(株)四季工房「おりじん」編集室
〒963-0115 郡山市南二丁目84番地
TEL 024-937-6351
FAX 024-937-6341
http://www.sikikobo.co.jp

住所表記が変わりました。

長年の夢を実現した、大宮の隠れ家的京料理店「くら馬」

駅から徒歩20分という住宅地の中の立地に、「こんな奥まった場所では無理」「飲食店なら駅前のビルの中でなきゃ」など、反対の声が上がりましたが、ご先祖から受け継いだこの土地でなければ意味がない、ここでこそできることがあると直感し実現したオーナー。池を囲むように建てた木造建築の空間で、景色と食事を楽しんで寛げるお店ができました。

四季工房が手がけたステキなお店

大切な人との貴重な時間は庭を囲む日本らしい食事処で

鉄板・懐石「くら馬」オーナー　大成 真弓さん

さいたま市、大宮駅から徒歩20分。地図を頼りに歩いて行くと、住宅街の中に隠れ家のように佇む木造建築を見つけることができます。これが大成さんのつくった鉄板と懐石料理のお店「くら馬」。ご主人がお医者さんであり、ご先祖から受け継いだ土地に建てたマンション管理などの仕事をする中、接待や会食に適して、しかも美味しく寛げる場所が近所にないことに不便を感じていたそうです。

折しも大成さんはあと数年で50歳を迎えようという時。3番目のお子さんも中学生になり、子育てが一段落して人生折り返し地点。今でなければできないと考え、食事に行きたくなるお店が近くにないなら自分がつくり、経営しようと決めたのだそうです。

出来上がったのは駐車場を含め370坪という広い敷地に、中央の池と庭を囲むようにゆったりと建てられた平屋の建築。個室、カウンター、ラウンジとどの席からも池と庭が眺められるので、客席に着くと風に揺らぐ水面の景色にリラックスし、時や場所を忘れた寛ぎに包まれます。

どの席からも望める池と風雅な景色を見て座っていると時間を忘れ、ふと自分はどこで寛いでいるのだろう、と不思議な感覚を覚える。

「都内にはホテルの中など、素敵なレストランが幾つもありますが、見えるのは都市の景色か箱庭、又は他のお客様の顔だったり。癒されるというものではないですよね。ですからここでは、運がよければ、ではなくて、どの部屋からも外の風景を楽んで寛いでいただけるように考えました」(大成さん)

建物を手掛けたのは四季工房です。大成さんは郡山の展示場やゆいの郷を訪ね、野崎進社長に家づくりのポリシーを聞き、情熱を持って家づくりに臨む姿勢に共感したそうです。しかし「地元の工務店」というと、無骨で田舎っぽいかも、という先入観があったことも確か。

「でも実際はどの展示場の家もとてもセンスがよく、昔の智恵と現代の家をうまく融合した、モダンな建物でした。庭やインテリアもよかった。他の建築会社さんにも素敵な建物はあったのですが、同様なものはどこにでもあるかな、という感じ。四季工房さんに頼んだら、他にないいいお店ができそうだと思いました」(大成さん)

「50歳でどう生きるかを考えるとそれからの20年、30年が違ってくるはず」と思い切って事業を始めた大成真弓さん。

また大成さんは、親御さんが亡くなる前、食事が喉を通らない様子を見て、「美味しくいただけるって如何に尊いことかを感じました。そのためにわざわざ足を運んでくださる方に、素晴らしい時間を提供できるお店にしようと思います」とも。白い割烹着の板前さんが忙しく立ち働く姿が、美味しい料理を連想させます。次はお食事に来たいと思った、「くら馬」の取材でした。

文／リポーター　中島早苗

鉄板・懐石 くら馬　さいたま市大宮区三橋1-668　TEL048-780-2652

営業時間　昼／11:30〜14:00(ラストオーダー)　夜／17:30〜21:00(ラストオーダー)　※水曜定休

四季工房との出会いで他にはない、日本のよさを生かした空間で美味しい料理を提供できる。

地域主義工務店の役割

ネパール訪問をふりかえって

(株)四季工房　代表取締役　野崎　進

ネパール訪問の目的

3月7日～12日までネパールを訪問してきました。約3年ぶりの訪問となった今回の目的は、私達がゆいの郷で一昨年から取り組んでいる光合成細菌(菌太郎)を使った有機無農薬野菜づくりを現地NGOラブグリーンネパール(LGN)に伝授することです。そのため、NPO未来の森づくり事務局の私と二村に加え、菌太郎の開発元の北島社長と研究者の林さんの4名で訪問しました。きっかけは、LGNの代表であるアミーラさんが目の手術と治療のために日本に滞在していた昨年末のことです。お見舞いも兼ねてお会いした際にこの光合成菌農法について話したところ、「大変興味があるのでネパールでも取り組めるように指導して頂けないか」という依頼を受けたことでした。

集まってくれた女子奨学生

皆様のご支援が着実に根づいています

8日にバンコク経由でネパールに着き、その足でまずカトマンズの東30㎞のところにある、パンチカール村のLGNの育苗センター兼研修センターに向かいました。そこでは、皆様方からご支援頂いている女子奨学生42名と面会しました。現在奨学生は約150名いるので、およそ3分の1の学生が集まってくれたことになります。感謝の言葉や歌の披露など、自分達で考えたプログラムで私達を歓迎してくれました。

ただお金を出すというのではなく、奨学支援を始めてちょうど3年目にその成長ぶりを見れたのはとても良かったと思います。私達の支援は、ネパール子女のためにしっかり役立っているという確認ができたことに加え、彼女達もしっかり学んでいこうという決意が新たになったことと思います。

ネパールの農業を変えたい

LGNの職員と地元のホテルに一泊し、翌日はLGNの管理する農場に出かけました。山の上の大変な場所にあり、車で揺られ約1時間半かかってやっと到着しました。ちょうど建物内では地元の農家の人々が参加しての勉強会が開催されており、その後、同行した林さんが「なぜ土壌改良が必要か」というテーマで説明会を行いました。「目の前の畑は、いやネパール全土の土が化学肥料と農薬で駄目になりかけている。確実に病気の野菜が増え、収穫量が減っているはずです」という話は、日本にもそのまま当てはまることで、私自身も勉強になることばかりでした。改めて健全な土づくりが、栄養バランスの取れた野菜づくりの基本だということを痛感しました。

「菌太郎」の培養実習をする林さん

講義の後、持参した種菌をもとに、現地で用意した米ぬかと酵母を混ぜて発酵させる「菌太郎」の培養実習に入りました。目の前での実習に、皆嬉々として取り組んでいました。「面白い農法でとても興味があります。私も今の仕事を辞めて農業に取り組みたいくらいです」というLGN代表のアミーラさんの言葉が印象的でした。菌太郎は3回ほどの反転、熟成ののち5～6日間で仕上がり、その後同じように増やして、順次畑に入れていくことになります。本格的に土壌が改良され、おいしい野菜ができるのには2～3年かかるのですが、ぜひこの農法をネパールの地で確実なものにするため、今後もお手伝いしていきたいと思います。

山の上の険しい場所にある農地

学校の前で多くの方が出迎えてくれました

42名の女子奨学生・LGN職員と記念撮影(LGN研修センターの前で)

歓迎式典の様子。後ろは新校舎

タクール学校の中の図書室

タクール学校の引渡し式

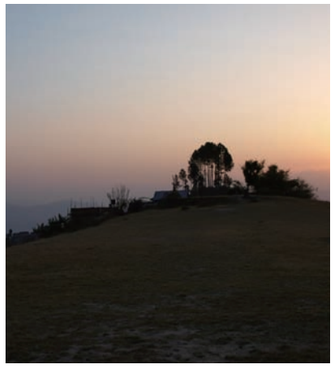
学ぶ楽しさを話してくれた奨学生たち

大歓迎を受けたタクール学校訪問

お昼にLGNのセンターでネパールの定食とも言える「ダルバード(豆を中心とした料理)」をいただいた後、タクール学校へ向かいました。四駆の車がやっと通れる位の、手入れされていない道に揺られながら(以前訪問した際にはこんなにはひどくなかったのにと思いながら)タクール学校に到着しました。事前に「完成した学校の様子を見せてもらうだけなので、大げさな歓迎等は遠慮したい」と申し入れていたにもかかわらず、前回と同じく村を挙げての大歓迎を受けました。改めての引渡し式とテープカットはやむを得ないとしても、村長、学校長、教育委員会などの挨拶が長々と続くのにはいささか閉口します。ネパール人は人前で話をするのが大好きなようです。セレモニーの中で、タクール学校は新しくなってから、近隣からの生徒が増えてもう手狭になってきたことを聞き、せっかくのご縁なので、これからも支援を続けさせていただく旨をお話して帰途につきました。

ネパール訪問で気になったこと

この度のネパール訪問で大変気になる話題が二つありました。それは気候の変化からかここ2～3年で高い山(7、000～8、000m級)にめっきり雪が降らなくなったという話です。そう言われて改めて見てみると、遠くに見える山々は、以前のような美しい白さではなくなっているように思えました。そのせいか訪れたカトマンズや周辺の村々の、今一番深刻な問題は、何といっても干ばつによる水不足とのことです。翌日に訪れたパシュパティナート(ヒンズー教の寺院・世界遺産)の前を流れるガンジス河支流の川も、以前来たときより驚く程水量が減って、ゴミばかりが目立っていました。ネパールの山々はその雪解け水がインドや中国の水源になっているので、山の雪や氷河の減少で、大規模な水不足が起こると言われています。帰路で立ち寄ったバンコクでも、周辺の地域で深刻な干ばつが続いているという話を聞きました。

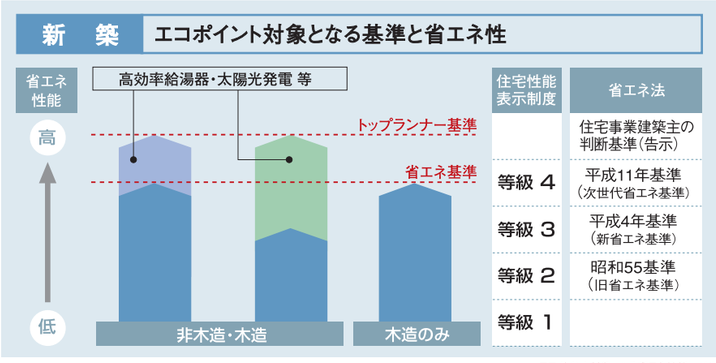


今回のネパール訪問は、地球温暖化の影響が確実に広がりつつあることを改めて実感した旅でした。そして今、自分達にできる環境対策に全力で取り組んでいくことが必要だという思いを、ますます強くしています。

お気軽にお問合せください

光熱費削減にもつながる住宅エコポイント制度

今年から新しく始まった住宅エコポイント制度。これは一定の省エネ性能を満たす工事に対してポイントを発行する制度です。政府は二酸化炭素の排出削減と景気浮揚の一石二鳥を目指してこの制度をつくりました。



対象は新築とリフォーム工事。もらえるポイントは、新築は一律で一戸当たり30万ポイント（1ポイント1円相当）。リフォームは断熱性能アップの工事箇所数に応じてポイントが加算されていく仕組みで、一戸当たり上限30万ポイントになります。

いずれの工事も「一定の省エネ性能を満たす」ことを担保するため、リフォームでは、工事に使える窓、ガラス、断熱材が細かく規定されています。新築では、①省エネ基準（H11年基準）、②トップランナー基準のいずれかの基準を満たしていることを評価機関で証明してもらわなければなりません。

四季工房の住宅は、「②トップランナー基準」で対応しています。これは住宅の断熱性能に加え、設置する暖房・冷房・換気・給湯・照明器具の総計のエネルギー消費量を評価するものです。現在四季工房では多くのお客様に、給湯器をガスの潜熱回収型（エコジョーズ）、照明を白熱灯ゼロでご提案していますが、あるケースでは年間約4万円の光熱費を削減できる試算となります（給湯と照明を対象。照明は1日5時間点灯と想定）。使用する設備によってはお客様に追加でご負担戴くケースもありますが、エコポイントに対応すると、30万ポイントをもらえるだけでなく、毎月の光熱費が削減できるメリットもあります。

また本来の目的である二酸化炭素排出削減にも大きく貢献できます。四季工房では2012年までにLCCO$_2$の50％削減を大目標にしていますが、今回のエコポイントへの対応により、自社の仕様を多面的な視点から見直すことができました。

これからも総合的な視点から「人と環境にやさしい家づくり」を追求していきたいと思います。

文・環境マネジメント室　二村真弓子

リフォーム　エコポイント対象となる工事と基準

❶ **窓の断熱改修**
内窓の設置、ガラス交換、外窓の交換

❷ **外壁、屋根・天井または、床の断熱改修**

❸ **バリアフリー改修**
（❶または❷と一体的に行う場合のみ）
手すりの設置、段差解消、廊下幅などの拡張

※省エネ基準（平成11年基準）に規定する断熱性能に適合するように行う。
※❶❷ともに住宅エコポイント事務局に登録された建材が対象。

車椅子にも対応できるようユニバーサルデザインを採用したY邸

住宅エコポイント制度の詳細は「住宅エコポイント事務局」のホームページに記載されています。
http://jutaku.eco-points.jp/

OBの広場
仕事・特技・趣味

ボランティア活動を通じて感じたこと

世界の子供たちに笑顔をプレゼント「オペレーションスマイル」での活動

大田熱海病院形成外科部長　小川　智子さん

昨年12月20日に放送されたTBS「報道の魂」に、猪苗代町にお住まいの四季工房OB・小川智子さんが医師として参加した「オペレーションスマイル（以下OS）」のボランティア活動のもようが紹介されました。

ベトナムでのOSの活動について、おりじん編集部が小川さんにお話を伺いました。

手術を待つベトナムの子供たちとボランティアスタッフ

各国から多くのスタッフが集まる

「きっかけは昨年、恩師から、OSのボランティア活動（詳細は下記参照）に行かないかと誘われたことでした。10年以上前、同様の医療ボランティアでネパールを訪れたのですが、その時の私はアシスタントとしての参加でした。今回は2週間、家庭や職場を空けることが不安でしたが、今の自分の技術でベトナムの子供達を救うことが出きればと思い切って参加したのです。

現地、ベトナムのハイフォンでは私同様、世界中から集まった医療従事者とボランティアがチームを組み、5日間で合計137人の患者さんに手術を施しました。OSのキャッチフレーズは『45分で一生の笑顔を』です。現地に行くまでは、そんな短時間で手術が終るわけないではないかと思っていましたが、実際に1人に1時間少々の時間で次々に患者さんを手術していきました。それでもスタッフ、材料、時間が限られているため、集まった患者さん全員を手術することはできません。今回手術を受けられなかった患者さんに次のチャンスが巡ってくることがほとんどないのではないかと思うと、いたたまれない気持ちになりました。

現地の医師・学生が見学する中、手術をする小川さん

現在、日本では唇裂口蓋裂の患者さんは出生後すぐ診断され、ほとんど公費で水準の高い治療を受けることができるため、街中で未手術の大人が歩いているのを目にすることはありません。しかし世界ではまだまだ、日本では考えられないようなことで苦しんでいる方が多いという事実を知っていただきたいのです。」（小川さん）

海外では30年近い実績のあるOSですが、日本での活動はまだほとんど知られてない状況です。関心を持たれた方は公式HPをチェックしてみませんか。子供達に笑顔をプレゼントするために、OSの活動は毎月、世界のどこかで続けられています。

オペレーションスマイルの活動に協力しませんか。

詳しい情報は公式ホームページをチェックしてください。
http://www.operationsmile.jp/

オペレーションスマイル（OS）とは
アメリカ、バージニア州に本拠地のあるボランティア団体で、発展途上国の唇裂口蓋裂の患者さんに手術を行うことを目的として、1982年設立。唇裂口蓋裂とは、唇や上顎などが裂けて生まれてくる障害で、原因はよくわかっていないが、400人から500人に1人の割合で生じる。OSでは25,000円で一人の手術を賄えるとし、寄付を受け付けている。

「木ごころ」からリフォームが変わります

木ごころ 5つの誓い

リフォーム業界は、なぜ一部でいい加減な工事が横行し、時に「胡散臭い」とさえ見られてしまうのでしょう。

それは、会社によって利益に対しての考え方や見積りの仕方が違うため、提示される金額と工事内容が妥当かどうか、エンドユーザーが判断する基準を持つことができないからだと思います。

木ごころでは、自らが「5つの誓い」をお客様に宣言することで、こうしたリフォーム業界の悪しき習慣を変えるべく真剣に取り組んでいます。価格の不透明さによるリフォーム業界の不信感を払拭するため、誠意あるお見積りと施工・アフターサービスで、真に信頼される新しいリフォーム会社を目指して頑張っています。

誠意あるお見積りと、施工・アフターサービスで、真に信頼されるリフォーム会社を目指して

「木ごころ」5つの誓い

1 高品質・納得価格

「木ごころ」は、直営工場生産による木材と専属の職人による直接施工で、中間マージンのない低コストな家づくりを実現。「より高品質なリフォームとより安心で納得のいく価格」をモットーとします。

2 コストダウン

お客様に納得していただける、誠意あるお見積りを提出するために、常にあらゆる面から価格を検証し、コストダウンの努力を怠りません。

3 ご返金制度

施工後、もし当初のお見積りより材料・手間等が少なく済んだ場合は、精算の上ご返金いたします。「木ごころ」では自ら定めた以上の利益は決していただきません。

4 追加工事の低減

追加工事によるお客様負担は大きな問題です。「木ごころ」では、追加工事のご要望があった場合は、最低コストで済むようお客様と共に考えます。また、安価なお見積りを提出して、施工中に追加工事を増やしていく手法を厳しく戒めます。

5 お客様満足の向上

お客様には施工後「お客様アンケート」にご協力をお願いします。アンケート調査は第三者機関によって実施し、もしご不満があった折には誠心誠意のご対応をさせていただきます。（「木ごころ」では、社長を交えたアンケート検討委員会を実施し、常にお客様満足の向上に努めます）

「木ごころ」展示場が仙台と大宮にオープン

木ごころリフォームのポイントは大きく2つです。

一、新築工事で培った品質と職人の手仕事を生かした丁寧な仕事をすること。

二、「国産無垢材と自然素材のリフォームを普通の価格で」を可能にすること。

さる3月に仙台中山展示場の敷地内に「木ごころ仙台」が、4月26日には埼玉市見沼区に「木ごころ大宮」がオープンしました。

リフォームをお考えの方はまずリフォームスタジオをチェックしてみてください。

木ごころ大宮
埼玉県さいたま市
見沼区南中野664-4
TEL 048-797-8721

木ごころ仙台
（旧WSSA）
宮城県仙台市青葉区
中山吉成1-17-23
TEL 022-279-6333

おすすめです!!

孫の代まで使える木ごころオリジナル家具ができました。

木ごころは北海道の広葉樹を一手に扱う商社直営工場へ特別注文することで、驚きの品質と価格を実現。合板を一切使わない無垢の家具は孫の代まで使える価値ある逸品です。リフォームスタジオおよびワッサでも取扱いしています。ぜひ一度ご覧ください。

収納ボード

机
63,000円

テレビ台（W1200）
107,000円

設置場所に合わせたフルオーダー家具も格安です。
250,000円〜

ベッド
107,000円

ナイトテーブル
60,000円

※全商品とも消費税送料別途

皆さんもぜひご参加ください

5月8日に仙台国際センターで（財）天風会特別講演会開催

「天風会」とは、心と身体を統一することによって命の力を高め、実践を通じて真の人生とは何かを知り、幸福で生きがいを得られる方法「心身統一法」を実践・体験する団体です。心を強くしたい、運命を切り拓きたい、本当の健康を獲得したい、人生に再チャレンジしたい、といった多くの人々を導いてきました。

この「天風会」の特別講演会が5月8日（土）に仙台市国際センターで開催されます。講師は元衆議院議員で財団法人天風会・理事長の尾身幸次氏。「心身統一法が私の人生を変えた」と題して、中村天風氏と出会ってその教えを実践し、病気を克服し、逆境を乗りこえて現在に至る半生を振り返ります。

四季工房では仙台支店に「財団法人天風会仙台賛助会設立準備の会」を設け、特別講演会開催を全面支援しています。参加ご希望の方は仙台支店までお申込みください。

講師を務める
財団法人天風会・
尾身幸次理事長

20世紀の鉄人と
言われる中村天風
（1876〜1968）

財団法人天風会仙台賛助会設立準備の会
TEL022-277-9831（四季工房仙台支店内）
満席に近いお申込み状況です。
お電話でご予約ください。（担当／佐々木）

東京都内3つの目の展示場として「立川展示場」4月30日オープン

東京の西部に位置する郊外都市・立川市に、都内3つめの四季工房展示場が4月30日にオープンします。総合住宅展示場「ハウジングワールド立川」内に誕生するモデルハウスは、建築家・田中敏溥氏の設計によるもの。何度訪れても時間を忘れ、ゆっくりと寛げる滞在型展示場をコンセプトにしています。新しい提案が充実した四季工房の家づくりをぜひご覧ください。なお9月にはさいまた市与野にも新展示場をオープン予定です。どうぞご期待ください。

立川展示場／東京都立川市泉町935-1（ハウジングワールド立川内）
TEL 042-512-8526　FAX 042-512-8536
●平日 11:00〜18:00 ●土・日・祝日 10:00〜18:00（水曜定休）

100人の棟梁を育てる「人間育成塾」開講

前々回の「おりじん」誌上でご紹介しました100人の棟梁を育てる「人間育成塾」が4月3日に開講しました。

伝統建築の設計を手がけ、自身も墨付けもできる建築家・小林三元氏を塾長に、2ヶ月に3回のペースで大工さん見習いの若手職人たちの教育・指導を行います。その目標は、伝統工法による木の家づくりの文化を未来に継承するために、その担い手である棟梁を100名育てようというもの。技術的に優れているだけでなく、周囲に対する気配り・目配りができる、人格的にも優れた真の棟梁の育成を目指しています。

先々まで価値を持ち続ける家づくりのために、誇りを持って大工の仕事の習得と実践を図っています。腕のいい大工・棟梁を育てなければ、私たちがめざす良い家づくりは安定的に継続できません。

100人の棟梁の育成は私たちに与えられた使命であると考え、真剣に取り組んでまいります。

棟梁にノミの研ぎ方を真剣な表情で教わる塾生たち

「ガイアシンフォニー第七番」完成

四季工房もスポンサー企業になりました。

「地球の声が聞こえますか?」という呼びかけで始まる映画「地球交響曲（ガイアシンフォニー）」は、母なる星・地球の未来にとって示唆にあふれたメッセージを持つ人々をドキュメントしたオムニバス映画です。その最新作「第七番」がこのほど完成し、試写会が開かれました。今回、四季工房は協賛企業として映画製作に協力しています。最新作の上映会も夏以降に計画していますので、詳細が決定次第にご案内いたします。また、7月発行予定の雑誌「チルチンびと」別冊誌上で、「地球交響曲」シリーズの監督・龍村仁氏と当社代表取締役・野崎との対談が掲載されますので、ぜひご一読ください。